

INTERVIEW

日本公認会計士協会東海会
久松 但会長

コロナ禍 中小企業の経営上の悩み解消に 無料の経営ソムリエ相談センター開設 「ご活用を」～公認会計士東海会の久松会長

コロナ禍で経営上の問題に直面している中小企業の役に立ちたい——そんな発想から公認会計士の集まりである日本公認会計士協会東海会がこのほど「経営ソムリエ相談センター（※1）」を発足させた。久松但（ただし）会長は「無料相談を通じて中小企業の皆さんの悩みに寄り添い、ともに解決策を探りつつ公認会計士の役割も広く知っていただきたい」と活用を呼びかけている。

（聞き手、構成は編集顧問 中西英夫）

——この無料相談センターを開設したいきさつは？

久松 東海会には19の委員会がありますが、その一つの中小企業施策委員会から「コロナ禍によって売上減少や資金繰り等、経営面で困っている中小企業が多い。こういう時期だからこそ、こうした方々になんとか役に立てないか」という提案があり、議論を進めました。現実的に、コロナ禍で多くの中小企業の皆さんが給付金の申請や資金繰り等で悩んでおられます。しかし、こうした問題には税理士や金融機

関等が相談に乗っておられます。また年に1回、弁護士、税理士、司法書士、社会保険労務士、不動産鑑定士、などの多くの専門家による無料の「士業による1日相談会」も開催されています。ところが、意外にも経営上の問題について、常設の無料相談窓口がほとんどありません。

このような状況を踏まえ、日頃からお世話になっている地域への恩返しという意味も込めて発足することにしました。レストランのソムリエがお客様の好みや料理を考えながら深い知識を使って飲み物を提供する姿と重ね合わせ、プ